

公益社団法人 日本ボクシング連盟 令和6年度 第1回理事会議事録

1 招集通知年月日	令和 6年 5月 5日 (日)		
1 開催年月日及び時刻	令和 6年 5月13日 (月)	20:00～	
1 開催場所	テレビ会議用アプリケーション Zoom を使用したオンライン会議		
1 出席・資格確認	理事	22名中	出席 20名 欠席 2名
		議決権数	22個中 20個
	監事	2名中	出席 2名 欠席 0名
	顧問		0名
	オブザーバー		4名

開会 (20時00分)

定款第34条に則り、仲間専務理事が議長となった。議長は、テレビ会議用アプリケーション Zoom を使用してWEB出席を行っている理事及び監事、オブザーバーの回線が正常に稼働していることを相互に確認し、本理事会は適法に成立した旨を宣した。次いで定款38条2項により会長及び岩井監事が署名人となることが報告された。書記には大政理事、池端理事が指名され議案の審議に入った。

3. 目的事項

1) 審議・決議事項

1. 次期理事候補選出のための手続きについて

仲間議長より、次期理事候補選出のための手続きについて提案がなされた。審議が行なわれ賛成多数で下記の通り議決された。

記

- ①委員会を目的の類似するもので6つに区分けし、「その他」を加えた7分野×3名の担当理事、計21名程度を選出する。(最大数は23名)

以上

2. 定年制について

仲間議長より、定年制について一旦は67歳としたが、65歳に戻し、「国の定める国家公務員の定年の延長などに伴い、社会的通念の変化に伴い随時再考し、理事会の決議をもって延長することが可能である。」という一文を追記していく提案がなされた。審議が行われ賛成多数で下記の通り議決された。

記

- ①定年を65歳に戻し上記の一文を追記する。

以上

3. 倫理委員会から処分に関する件

倫理委員会より不適切行為への処分に関して5件の事案が説明された。審議が行われ下記の通り議決された。

記

- ①傷害事件に関する件は資格停止5年とする。また解除は被害者との示談を条件とする。
- ②上記の該当者の、傷害事件を知ったうえでセカンド（役員）登録を許可した役員3名については口頭による嚴重注意とする。
※以上、満場一致。
- ③不適切な指導を行った件については本人も十分な反省をしており資格停止6か月及び顛末書の提出とする。
- ④体罰を伴う不適切指導を行った件については本人も十分な反省をしており資格停止6か月及び顛末書の提出とする。
- ⑤無資格でのチーフセカンド従事に係る件については関係者4名について口頭による嚴重注意とする。
※以上、賛成多数。

以上

4. 次世代判定システムに関する追加費用の件

菊池理事より、次世代判定システムに関する追加費用の件について説明がなされた。審議が行われ、賛成多数で下記の通り議決された。

記

USDの換算レートによる40万円から50万円の支出を行う。

以上

5. 全日本選手権実施要項について

総務委員会より、全日本選手権実施要項について提案がなされた。審議が行われ満場一致で下記の通り議決された。

記

- ①事前抽選を廃止し監督会議での組合せ抽選とする。
- ②女子については各都道府県代表とする。
- ③ブロック代表枠は関東、関西、九州を2枠に増やす。

以上

6. 全日本選手権日連推薦基準について

強化委員会より、全日本選手権日連推薦基準について提案がなされた。審議が行われ満場一致で下記の通り議決された。

記

- ①前年度全日本選手権大会優勝者
- ②主要国際大会実績者（例えば過去1～3年の実績）やJOC強化指定選手。
- ③その他、強化委員会が選出し、理事会が承認したもの。

以上

2) 報告事項

1. 倫理委員会から（決議と重複するなら省略）…省略
2. 来年度決算について…今期は赤字の決算となる。
3. 裁判の進行状況に関する報告…最高裁に上告中
4. その他

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、22:30に閉会した。

以上の決議を明確にするために、この議事録を作成し、定款第38条第2項に従い出席した内田会長及び岩井監事が議事録署名人としてこれに記名押印する。

以上の議事の内容を記録し、これを証するため署名押印する。

令和 6 年 5 月 15 日

議事録署名人

内田 貞信

議事録署名人

岩井 翼

